



平成 19 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 OBARA株式会社
 代表者名 代表取締役社長 春名 邦芳
 (コード番号 6877 東証第一部)
 問合せ先 取締役 小原 康嗣
 (TEL. 0467 - 76 - 2000)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11 月 16 日の決算発表時に公表した平成 19 年 9 月期(平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月期連結業績予想数値の修正(平成 18 年 10 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	40,000	5,100	3,100
今 回 修 正 予 想(B)	42,300	5,250	3,250
増 減 額(B-A)	2,300	150	150
増 減 率(%)	5.8%	2.9%	4.8%
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期)	39,748	5,202	3,633

(金額の単位:百万円)

2. 平成 19 年 9 月期個別業績予想数値の修正(平成 18 年 10 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	10,500	1,700	1,300
今 回 修 正 予 想(B)	10,500	1,450	1,150
増 減 額(B-A)	-	△250	△150
増 減 率(%)	-	△14.7%	△11.5%
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期)	10,905	1,073	670

(金額の単位:百万円)

3. 修正の理由

通期の見通しにつきましては、平面研磨装置関連事業において受注残高が高水準で推移しており、下期も堅調な売上が見込まれることや、抵抗溶接機器関連事業につきましても、自動車産業の高止まりする設備投資に支えられていることもあり、当連結会計年度における売上高は前回予想を上回る見通しであります。利益につきましては、両事業とも原材料高等の影響から厳しい状況ではありますが、平面研磨装置関連事業の受注及び売上が堅調であることから、連結経常利益・連結当期純利益につきましても前回予想を若干上回る見通しであります。一方、個別の業績につきましては、主要原材料の銅や非鉄金属の価格が高止まり推移していること、更には競争激化による納入品単価引下げ要求が強く、経常利益・当期純利益は計画を下回る見通しとなりました。

※ 上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上